

SKIPシティ映像ミュージアム企画展「トンコハウスの世界～ダム・キーパーからONIまで～」関連イベント
堤大介（監督） & 栗田唯（ストーリーボードアーティスト）
トークイベント「ぼくたちが作品制作にたどりつくまで」
2023年12月23日(土)に開催！

現在SKIPシティ映像ミュージアムで開催中の企画展「トンコハウスの世界～ダム・キーパーからONIまで～」の関連イベントとして、スペシャルトークイベントの開催が決定しました。

今年2月に“アニメーション界のアカデミー賞”と呼ばれるアニメ賞で作品賞（リミテッドシリーズ テレビ/メディア部門）、プロダクションデザイン賞（テレビ/メディア部門）で最優秀作品に選ばれ、また、米4大エンターテインメント賞のひとつであるエミー賞で3部門にノミネートされた『ONI ～ 神々山のおなり』。

『ONI ～ 神々山のおなり』の監督である堤大介氏はアメリカ（パークレー）からオンラインで参加いただき、SKIPシティ映像ホールに本作のストーリーボードを担当した栗田唯氏をお招きして「ぼくたちが作品制作にたどりつくまで」をテーマにトークイベントを開催します。



堤大介（つつみ だいすけ）〈オンライン参加〉

東京都出身。スクール・オブ・ビジュアル・アーツ卒業。
 ルーカス・ラーニング、ブルー・スカイ・スタジオなどで『アイスエイジ』や『ロボッツ』などのコンセプトアートを担当。
 2007年ピクサーに招聘されアートディレクターとして『トイ・ストーリー3』や『モンスターズ・ユニバーシティ』などを手がける。
 2014年7月ピクサーを去りトンコハウスを設立。初監督作品『ダム・キーパー』は2015年米アカデミー賞短編アニメーション賞にノミネート。
 2021年には日本人として初めて米アニメ賞のジューン・フォレイ賞を受賞。
 一冊のスケッチブックに71人の著名なアーティストが一枚ずつ絵を描き、手渡しで世界中を巡るというプロジェクト『スケッチトラベル』の発案者でもある。



栗田 唯（くりた ゆい）

高知県出身。2012年にサンフランシスコの美術大学AAUの大学院に入学。
 Blizzard Entertainmentにてストーリーボードアーティストとしてキャリアをスタートし、帰国後はMARZA ANIMATION PLANETで「Ninjala」のストーリーボードを手掛ける。その後、堤大介監督からのオファーで『ONI』のストーリーボードに携わり、現在はフリーランスのストーリーボードアーティストとして活動中。

【トークテーマ】 **ぼくたちが作品制作にたどりつくまで**

【日 時】 2023年12月23日（土） 16:00～（開場15:30）

【所要時間】 70～80分程度（予定）

【料 金】 無料

【会 場】 SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ映像ホール

【定 員】 321名

【申 込】 **事前申込:** オンラインのみ／全席指定／先着順

申込URL: <https://dss.sboticket.net/top>

申込期間: 12月8日(金)12:00～12月22日(金)23:59

当日受付: 残席がある場合に若干数受付予定

【問 合 せ】 SKIPシティ映像ミュージアム TEL：048-265-2500

【H P】 <http://www.skipcity.jp/>

申込はこちら



本リリースに関するお問合せ：株式会社デジタルSKIPステーション 担当：青木

Tel：048-264-7777 Eメール：press@skipcity.com

※株式会社デジタルSKIPステーションは埼玉県からの委託により、SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザの管理・運営を行っています。

※すべてのイベントは予告なく変更または中止となる場合がございますのでご了承ください。